



避難訓練



防災地震体験

6月8日（水）避難訓練が行われました。今回は、地震体験車を全員が体験することができました。実際に起こった地震を再現したものや、今後起こりうる地震の規模を再現したものなど、たくさんのバリエーションがあり「この時は、大きな揺れが波のように何度も起こったんだ」「長い時間揺れが続いたんだ」「最初の衝撃が大きかったな」と、とても印象に残る体験でした。

お おさない × 	は はしらない × 	し しゃべらない × 	も もどらない ×
--------------------	---------------------	----------------------	---------------------



体験車のスペースは2畳くらいでしょうか。4人ずつ入ると、カウントダウンが始まります。4・3・2・1 Start！最初は穏やかな揺れで余裕の表情でしたが、ガタンと大きく揺れた瞬間の本気の顔(；^_^)！うわあ～、きゃー！という声も聞こえてきました。



最大で、震度7まで体験しました。写真を見ると、髪の毛が乱れていたり、体が浮いていたり、必死にテーブルにしがみついていますね。東日本大震災が起きた時は、生徒たちは5歳～7歳のころですが、当時の状況をどのくらい覚えているでしょうか？今後起こりうる地震を再現したバージョンは、揺れが長く続き本当に怖いと思いました。

最後に、大曲消防署西仙北分署副分署長の境さんから講評をいただきました。

地震体験車で地震の怖さを体験することも大事ですが、災害にあった後の行動を考えてみてください。東日本大震災では、大規模な停電、交通機関の乱れ、通信障害が起こり、帰宅できない、安否が確認できないなど混乱がありました。日々の備えとして、家族で災害後の行動について話してみてください。私からの宿題です。

校長先生から

過去に災害にあった人々へのアンケート調査で、災害時に避難を始めたきっかけは、という質問の回答が

- ・近所で避難している人を見かけたから
- ・家族や近所の人に声をかけられたから

という内容が多かったそうです。私たちも、正しい決断をして被害を最小限に抑えられるような行動ができるようにしたいです。今日の訓練で避難にかかった時間は、昨年よりも6秒縮めることができました。1秒あれば助かる命もあります。とてもよかったです。